

# 第160回 医療技術者研修会

短期間で“できる人材”が育つ「仕組み」のつくり方  
— 行動分析の科学を人材育成へ —

講師：<sup>まつだ</sup>松田 <sup>あらし</sup>新士 先生

株式会社ウィル PM インターナショナル  
社団法人行動科学マネジメント研究シニアコンサルタント

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

## 【講演要旨】

- 望ましい行動が測定、評価される
  - 具体的な行動を表した言葉が使われる
  - やらないことを決める
  - 適切なコミュニケーションがなされ信頼関係ができていく
- これが、「仕組み」のある理想的な環境といえます。

人が育つ仕組みの導入は、「部下を思い通りにコントロールする」「行動の一つひとつを管理する」と、解釈されがちですが、そんなことはありません。目的はあくまでも成果を出すことにあり、部下が喜んで自発的に仕事をしてこそ、成果が出るものと思います。

長時間労働の是正や働き方改革が求められる中、多くの職場で働き方の見直しを迫られています。残業ゼロを実現して、生産性アップも求められる、現場リーダー・マネジャーはいかにチームをまとめていくべきか。「行動科学マネジメント」をベースに、部下の行動、チームを変えるための現場でできる「仕組みづくり」のやり方をお伝えしていきます。

## 【講師略歴】

グループの教育企業において事業統括責任者を 15 年歴任。

組織と人のマネジメントおよび行動変容のノウハウを活かし、業種業態に関わらず、これまでに 300 社以上における人材育成やセーフティマネジメント領域でのプロジェクト実績がある。自身のマネジメント経験(累計約 800 人を超える社員に対しての行動科学マネジメント®を用いた行動変容)とノウハウを活かし、「行動変容」「効率化」「行動継続」などをキーワードに現場の具体的改善指導を行う。

個人の価値観が多様化されてきた現在、過去の成功法則が一律では通用しなくなってきている中で、現場で最前線に立つマネジャー・リーダーへのインストラクションを中心に活動。また、組織における次世代の幹部・リーダー候補の人材育成にも強みを持つ。大手メーカーから金融からサービス業まで実績多数。

## 【関連著書】

「子どもを伸ばす技術：家庭でできる「行動科学」で子どもの自己肯定感を高める方法」  
(2021年3月、行動科学パブリッシング)

【日時】2023年 2月 4日(土) 午後3時～5時30分

【参加費】無料 【定員】100名(接続数) Web オンラインでの参加のみとなります

### 申し込み方法

- 勤務先・職種・氏名(フリガナ)をもれなく記入のうえ、研修会の期日と開催回数を明記し、メール([seminar@byotai.or.jp](mailto:seminar@byotai.or.jp))にてお申し込みください。(記入もれがある場合、返答できません。あらかじめご了承ください。)
- 申込者へは順次、受講申込への返答をメールで送付いたします。
- 勤務先ごとでまとめて、お申し込みください。同一施設で複数名申し込みの場合は施設視聴をお勧めします。

\*定員到達後の申込者へは「締切済」通知をメールで送付します。先着順で締め切ります。あらかじめご了承ください。

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、いただいた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては下記「医療技術者研修企画係」へご連絡をお願いいたします。

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町 26-2 TEL:03-3956-4120

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所 医療技術者研修企画係